

平成 31 年 4 月 1 日

平成 30 年度 NPO 法人日本栄養改善学会近畿支部評議会 議事録

議事

1. 平成 29 年度事業報告及び収支決算報告並びに監査報告

日本栄養改善学会近畿支部平成 29 年度事業報告（支部会総会資料 1 頁）について、吉本優子庶務幹事より説明があり、承認された。

3~4 頁の平成 29 年度日本栄養改善学会近畿支部決算書と第 16 回日本栄養改善学会近畿支部学術総会決算書について、郡 俊之会計幹事より報告があった。3 頁の平成 29 年度日本栄養改善学会近畿支部決算書の管理費（3 頁）に記載の会議費（48,401 円）について、由田克士支部長より補足説明がされた。会議費（48,401 円）の一部については、事務の引き続きに関する会議費（12,900 円）が含まれている。この会議費（12,900）は、新旧の 3 役（5 名：由田克士支部長は留任）で事務の引き続きに関する会議を開催するにあたり、時期が 4 月であり、新旧の 3 役の日程調整も難しく、新旧 3 役が集合しやすい大阪駅付近を捜したが、会場費が高額であった。結局、新旧 3 役（5 名）の日程と時間が合う（4/15（日）の 11 時~13 時）、昼食付きで飲食ができるレストランがあり、そこで、食事をしながら事務の引き継ぎ会を実施した。その時に要した経費（12,900 円）は、私たちの不注意で「部屋代」としてではなく「食事代」と但し書きのある領収書で会議費と計上とした。林 宏一会計監事から領収書の額面上からは「会議に要した費用」ではなく「会食代」として見なされてしまう可能性が高いため、不適切であると指摘を受けた。そのため、この指摘を受け、現 3 役で討議した結果、この経費（12,900 円）を会計に戻すことにした。それに従い、平成 29 年度日本栄養改善学会近畿支部決算書の会議費（48,401 円）とし、9 頁の平成 30 年度日本栄養改善学会近畿支部予算書（案）のその他の収入の返金 12,900 円のところに返金分を記載し、銀行口座に返金している。他支部との会議に関する申し合わせのルールを調整し、今後はこのような事が起こらないようにしたいと説明がされた。

林 宏一監事により会計監査報告書（5 頁）が提出された。林 宏一監事より、先程、由田克士支部長からの報告事項について、事前監査（2/22）時に確認した。その後、由田支部長のリーダーシップのもとに回答・対処を頂いた。林 宏一監事より 3 月 5 日の午前に、宮崎由子監事が同日の午後に監査を実施したことが報告された。そして、会計監査報告書に基づき林 宏一監事より適正に処理されているとの説明があり、承認された。また、林 宏一監事より補足説明として、監査報告の対象事項ではないが、先程、由田支部長から説明のあった会議費（食事代 12,900 円）の支部会計に返金については、確認をしていると説明がされた。

そして、3 頁~4 頁の平成 29 年度日本栄養改善学会近畿支部決算書と第 16 回日本栄養改善学会近畿支部学術総会決算書について承認された。

2. 平成 30 年度事業計画（案）及び収支予算（案）

日本栄養改善学会近畿支部平成 30 年度事業（案）（7-8 頁）について吉本優子庶務幹事より説明がされた。つぎに、平成 30 年度日本栄養改善学会近畿支部予算書（案）（9 頁）について、郡 俊之会計幹事より、先程、由田支部長から説明があった、返金（12,900 円）を含めた予算書（案）報告がされた。

由田支部長より、8 頁の 9. 近畿支部実践栄養学セミナーの日本栄養食糧学会との共同開催は 2 年に 1 回の担当になっている。今年度は共同開催であったため、次年度（2019 年度）は日本栄養改善学会近畿支部の単独開催になるので、「第 10 回栄養学を志す若手のためのフォーラム」の削除をお願いしたい。

桑波田支部評議員より 9 近畿支部実践栄養学研究セミナーの開催について、今年は、「栄養学を志す若手のためのフォーラム」との共同開催ではないかという質問があった。由田支部長より、日本栄養改善学会の年度開催は 8 月からであり、日本栄養食糧学会の年度開催時期が相違している。したがって、次年度（H31 年度）は日本栄養改善学会近畿支部の単独開催になると説明がされた。

また、9 頁の平成 30 年度事業計画（案）の期間の年号（自 平成 29 年度 8 月 1 日 至 平成 30 年 7 月 31 日）の修正の必要性を指摘され、修正（自 平成 30 年度 8 月 1 日 至 平成 31 年 7 月 31 日）をおこなった。

そして、7~9 頁の日本栄養改善学会近畿支部平成 30 年度事業（案）と平成 30 年度日本栄養改善学会近畿支部予算書（案）が承認された。

3. 第 18 回(2019 年度)・第 19 回 (2020 年度) 支部学術総会開催について

由田克士支部長より、第 19 回 (2020 年度) 支部学術総会開催に審議をお願いしたい。第 19 回 (2020 年度) は兵庫県担当であり、役員と兵庫県の大学関係と調整させて頂いた結果、園田学園女子大学の三浦佳代子先生を学術総会長として推戴したく審議をお願いしたいと提案され承認された。三浦佳代子先生から挨拶があった。

また、次年度 (2019 年度) の第 18 回 (2019 年度) 支部学術総会担当である大会長の木戸慎介先生 (近畿大学) から挨拶があった。詳細な日程は調整中で、本年度と同じ時期の 3 月を予定しているという説明があった。

4. その他

若手研究者表彰の受賞者や表彰式等に関する報告がされた

以上